

ごあいさつ

関西北陸ブロック教職員委員会

委員長 只友景士 (ただともけいし)



組合員シティズンシップの拡がる 教職員委員会活動を

関西北陸ブロック教職員委員会
委員長 只友景士

関西北陸ブロックの教職員の皆様 こんにちは。
龍谷大学の只友景士でございます。この度、ブロッ
ク教職員委員会 の委員長を務めさせていただくことにな

りました。よろしくお願い致します。

さて、関西北陸で事業連合とブロックの統合から2年目に入りました。三つのエリアとブロックが連携し合い、大学生協運動を推進する新体制も試行運転モードから本格運転モードになったと思います。もちろん、ブロック教職員委員会も 本格運転の新たなステージを目指していかなければなりません。

私は、常々、理事会の場などで、「4年間大学生協を利用した学生組合員が、消費生活協同組合の意義について理解して卒業してもらえる事業活動、組合員活動を心掛けるべきであろう」と発言しております。

全国、ブロック、エリア、会員といった様々なレベルで学生委員会活動が活発に展開されていますので、学生について言えば、曲がりなりにも大学生協・協同組合の存在意義を理解してくれている学生組合員が広がっていると言えるでしょう。それでは、教職員の間に、大学生協・協同組合の存在意義の理解は広がっているのでしょうか？組合員加入すらしていない教職員も一定存在する様な現状を鑑みると理解が広がっているとは言えないでしょう。教職員委員会の果たすべき役割の一つに、教職員の皆さんに 大学生協への関心を持ってもらい、大学生協への理解を深めてもらう活動がある と思います。そうした活動は、教職員の皆さんの大学生協への主体的な参画を促すことに繋がり、大学生協のガバナンスに教職員が、一定の役割を果たし、積極的にかかわる契機となるでしょう。事業連合もブロックも広域化した今こそ、事業連合・ブロックに対して、組合員によるガバナンスを強める必要があります。組合員によるガバナンス強化のためにも、教職員委員会を活性化させ、主体的にかかわる教職員組合員のネットワークを広げることが求められています。

そんな 組合員シティズンシップの拡がる教職員委員会活動が出来れば良いかなと願っております。どうか皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

CONTENTS

●ごあいさつ

- ・新教職員委員長

●会員TOPICS

- ・福井大
- ・金沢大
- ・京都府医・府大
- ・高専合同企画
- ・奈良県大
- ・京大

●各地の取組み

- ・阪神エリア
- ・ブロック学生
事務局研修会

●ブロック教職員

- ・酒蔵見学会

●【事前告知】

- ・全国教職員
セミナーin富山

●【募集案内】

- ・愛と平和の
徳島ツアー



北陸エリア



京滋・奈良エリア



大阪・兵庫・和歌山エリア

ご質問、お問い合わせ、紹介したい活動等、右記の連絡先までお願いします！



教職員担当 横山 治生

Haruo.Yokoyama@ma1.seikyoku.ne.jp

会員TOPICS



北陸エリア



京滋・奈良エリア



大阪・兵庫・和歌山エリア

福井大生協 生協奨学金決定通知の授与式行われる

平成29年12月21日、福井大学学生支援センターにおいて、平成29年度後期の福井大学生協奨学金決定通知の授与式を実施。授与式には、中田隆二副学長、福井大学生協の永井二郎理事長、磯崎修治専務理事、岡田正史学務部長らが出席。中田副学長が5名に奨学生採用決定通知書を授与しました。中田副学長は「生協のご厚意による寄附でみなさんの修学を支援しているので、自分のために役立てて、充実した学生生活を送ってほしい」と述べ、終了後に懇談会が行われました。



懇談会では、永井理事長から大学や生協への要望について質問があり、積極的に意見交換が行われました。

金沢大生協 留学生パーティ開催

生協では毎年3回、留学生を主な対象にした交流パーティを開催しています。1月10日に開催した新年会（New Year Party）には留学生担当の先生方や留学生同士の呼びかけもあって、62名の参加がありました。

参加者はほぼ生協組合員ということもあり、加入案内よりは、帰国時の出資金返還手続きを案内しました。ビンゴゲームはチーム対抗戦で、司会はアメリカの留学生が務め、日本人も含めて出身国が混ざったグループ編成で交流。景品にはハラル認証チップスの他、風邪予防のマスクやホッカイロ等をプレゼントして喜ばれました。



ビンゴっ。

京都府立医大・府大生協 W受賞！

公立大学法人学生等表彰・府立大学学長賞

学生委員会「おれんじ」が学長賞を受賞。表彰理由は「長年にわたり交流・安心安全・健康などの分野において学生を支援する様々な活動に取り組んでこられたこと」。

表彰式には有末学生委員長、四方副学生委員長が参加。東理事長先生も出席されお祝いに。築山学長からは、「多彩な場で持ち味を發揮してくれて嬉しい。地域の宝になるように大学としても活躍の場を用意していきたい」とお祝いの言葉をいただきました。学生委員会「おれんじ」の取り組みは、京都府公立大学法人賞も受賞しており、今回の受賞とあわせてダブルでの表彰となりました。



「先輩方が頑張っておられたおかげ。それが評価されたのだと思います。後輩たちも元気で力のある子たちなのでこれからもがんばっていききたいです。」

(左から)東理事長、有末委員長、四方副委員長

神戸高専生協 奈良高専生協 富山高専生協 石川高専生協

「ロボコンお祝いセール」 関西北陸の4高専生協で実施



(左から)奈良高専、石川高専、富山高専

生協のある4つの高専がそれぞれ全国大会に出場するのを機に、奈良高専店長から神戸、石川、富山の高専店長に声掛けし、4高専生協で「ロボコンお祝いセール」を実施。ロボコン大会で選手宣誓をした学生が友達と石川高専のお店に来て、生協でロボコン準優勝おめでとう！セールを展開していたのを見て大変喜び、「生協でこんなに応援してくれたなんて！！有難うございます！」と言ってくれたそうです。神戸高専では監督をされている先生に企画内容をお伝えしたところ「あとで、メンバー全員で買いに行きます。」と喜んで頂いたとのこと。生協は単に店だけではなく高専生の頑張りや高専の良さを実感できるように高専生協ネットワークの力で色々取り組みたいと奈良高専店長が語っていました。

奈良県立大は二つの世界文化遺産に挟まれたハーモニーゾーンに位置しています。



新入生・保護者のゼミの説明

奈良県立大生協

新学期サポセンに教員ブース

奈良県大は学生数が700名の小規模大学。新学期は保護者説明会の後、ホールで加入、PC、各講座、フリートークの相談ブースを設置し、新入生や保護者の相談に。専務理事をされている小松原先生ら教員も新学期のサポートセンターにブースを出され、ゼミの説明や大学周辺のタウンウォッチングに親子をご案内されるなど活躍されていました。

京都大生協 心も体も健康にー京大ヘルシーキャンパス宣言



取組みを紹介する中島専務理事

京都大学では、「大学から人々と社会の身体的、精神的な健康を創造すること」を目的に「ヘルシーキャンパス運動」を進めています。主な活動は①ウォーキングやストレッチをみんなで体験②ストレス対応力を楽しく高める企画③インスタ映えするお手軽ヘルシーフードの提案の3本の柱。12月13日には「京都大学ヘルシーキャンパス」キックオフフォーラムを開催、山極総長の「ヘルシーキャンパス宣言」はじめ五輪メダリストの朝原宣治さんを迎えてのトークイベントや京大生協中島専務理事もヘルシー弁当をはじめとする「生協発健康づくりの取り組み」を紹介しました。***ヘルシー弁当とは**
京大健康管理部門/健康科学センターが監修し、噛むことを意識し「500kcal以内、野菜4種類以上、塩分3g以下」で、400円で生協店舗で販売しています。

エリアTOPICS



北陸エリア



京滋・奈良エリア



大阪・兵庫・和歌山エリア

大・兵・和エリア

大学生による大学生のためのライフプランセミナー ～ジブン×ミライ デザインセミナー～

2017年12月17日(日)神戸学院大学ポートアイランドキャンパスにて開催。主催は兵庫県青少年本部・大学生協関西西北陸事業連合・学生団体スマセレ。参加者は阪神間の大学生21名。本企画は、兵庫県青少年本部の「大学生向けのライフプランセミナー」の一環として開催。セミナーは、自分の人生を選択するチカラを身につける時間と、自分の未来をデザインする時間の2部構成で行われました。自分の人生を選択するチカラを身につける時間では、「女性の社会進出」や「ワーク・ライフバランス」について学び、自分の未来をデザインする時間では、「ライフプランニング」と「保険の知識」について学びました。住友生命(相互)・全国大学生協連合会関西西北陸ブロックが協力。



関西北陸ブロック ブロック学生事務局研修

ブロックでは18年度より月一回、各エリアの学生事務局の合同会議が大阪会館で開催されることを機会に、生協の社会的課題について知り、考え話し合う学習会を開催することになりました。学習会のサポートをNPO法人コンシューマーズ京都に委託し、テーマや講師を相談しながら年10回開催することになっています。

- 1 協同組合とは その理念と活動 (青木美沙/奈良女生協教員理事)
- 2 大学生協とは その理念と活動 (加賀美太記/就実大生協教員理事)
- 3 社会的運動課題(1) 平和 (平信行/元京大専務・被爆2・3世の会)
- 4 社会的運動課題(2) 環境 (地球温暖化防止活動推進センター)
- 5 社会的運動課題(3) 消費者問題 (コンシューマーズ京都)
- 6 組合員の声を基礎にした活動 (日本ハムお客様担当)
- 7 社会的運動課題(4) 防災 (震災体験、福島からの避難者など)
- 8 食生活と健康 (大学生協管理栄養士から)
- 9 読書推進 (大学教職員理事、書籍部店長から)
- 10 ライフプラン (ファイナンシャルプランナー)

関西北陸ブロック教職員委員会企画

3月10日、ブロック教職員委員会の恒例、酒蔵見学が京都伏見の招徳酒造で開催されました。

当日は、10時に近鉄丹波橋駅に集合、徒歩で招徳酒造さんへ。社屋二階の部屋で招徳酒造さん作成のビデオを視聴。契約農家による京都府産米の純米酒にこだわる意気込みや努力を酒造りの数々の映像シーンを通して知ることができました。

その後、副社氏国石さんの案内で同敷地内にある酒蔵へ。100年前にできた木造の酒蔵と近代設備の説明と見学。

参加者の熱心な質問にも丁寧に答えていただきました。そして、いよいよお楽しみ「利き酒」タイム。招徳酒造さん自慢の純米各酒を次々と口に含みながら、香、味を楽しみました。酒蔵見学の後は月桂冠が経営する食事会場「月の蔵人」へ。おいしい、ランチと利き酒セットをいただきながら参加者交流をふかめました。参加者は19名でした。



招徳酒造木村社長が歓迎ご挨拶



純米酒を説明する木村社長



試飲会を楽しむ参加者



酒蔵を案内する副社氏の国石さん



教職員の皆さんへ 2018全国教職員セミナーin富山 事前告知

◆日時：2018年9月7日（金）～9月8日（土）

◆会場：富山大学五福キャンパス

◆日程（概要）

9月7日（金） 場所：黒田講堂ホール

12:00 受付開始

13:00 開会 委員長挨拶

来賓挨拶 富山大学長

14:00～ 全体会

●基調講演 講師 大内 裕和氏（おおうちひろかず）氏 中京大学国際教養学部教授。

専門は教育学。主な著書『ブラックバイトに騙されるな』集英社クリエイティブ、2016年、『奨学金が日本を滅ぼす』朝日新書、2017年 ほか。

●シンポジウム「大学生のためのセーフティネット～学生生活支援を考える～」

18:30～20:00 懇親会 場所：富山大学生協本店食堂

9月8日（土） 場所：共通教育棟講義室

9:30～12:00 分科会

分科会1 学びと読書PJ 分科会2 食と安全（共済を含む）PJ

分科会3 環境と防災PJ 分科会4 グローバル社会と平和PJ

分科会5 協同組合教育と組織づくりPJ

12:00 閉会

午後 オプション企画 関西北陸ブロック北陸エリア



北陸エリア



京滋・奈良エリア



大阪・兵庫・和歌山エリア

学びと交流のある旅

阿波の文化と世界に誇る先達の
偉業を訪ねよう

鳴門市立賀川豊彦記念館

生協の普及をはじめ賀川の様々な業績が展示されており、多方面にわたって活躍した様子がわかる資料館。



隣接するドイツ館

ドイツ兵捕虜の生活や住民との交流第九演奏の様子が展示されている。

友愛・互助・平和を求めた

偉人たちと阿波の文化（藍染体験）を訪ねる

- 日程：6月9日（土） 8：30～18：00頃（（京都発着・三ノ宮経由予定）
- 場所：徳島県鳴門市 賀川豊彦記念館 ドイツ館 町立歴史館 藍の館
- 対象者：教職員・学生委員（大学生協役職員）
- 費参加：6,000円
- 申込み：Keiji.Nara@ma2.seikyou.ne.jp 〆切：5月10日



歴史資料館藍の館（旧奥村邸）

阿波藍は染料として重宝され、阿波藍は徳島藩の財政を支えた。藍染体験でオリジナルの作品をつくる

学びの魅力 生協運動の父と呼ばれる賀川豊彦は過去3度ノーベル賞（平和賞・文学賞）候補に挙がり、「明治、大正、昭和の三代を通じて、日本民族に最も大きな影響を与えた人物」（大宅壮一）として世界に知られている。賀川家の生家があった鳴門市には第一次大戦で戦ったドイツ兵の捕虜収容所があった。この地で日本初の第九が演奏され、「日本でドイツに一番愛されたところ」といわれた、その理由とは…？。賀川が過ごしたこの地の歴史秘話と文化を生協の仲間同士で楽しく旅しよう。

企画：大学生協関西北陸ブロック 教職員委員会

～交流企画のご案内～ 徳島・あい&平和に ふれる旅

大学生協関西西北陸ブロック教職員委員会

【企画趣旨と目的】

①「生協の父」と呼ばれた賀川豊彦

の足跡や様々な社会運動に身を捧げた彼の功績を知ろう。

②徳島の歴史にのこる偉業や文化に ふれよう。

③地域や大学・階層を超えて生協の仲間同士の交流やネットワークを広げよう。

【スケジュール案】※予定です。

●6月9日（土）

8：30 京都駅八条口集合出発

9：50 三ノ宮駅前集合

10：00 ピックアップ・出発

明石大橋ICでトイレ休憩

鳴門市へ

11：40 鳴門市賀川豊彦記念館着

見学とガイド（1時間）

12：40 昼食・休憩（40分）

13：20 ドイツ館（50分）

見学・ガイド・ヨット

14：10 出発

14：30 藍の館（50分）

見学・ヨット

15：20 出発

17：00 三ノ宮 解散

18：30 京都駅八条口解散

賀川豊彦

若き日、神戸のスラムに身を投じて貧しい人々の救済に専念。壮年時代には、労働組合運動、農民運動、協同組合運動、無産政党樹立運動に献身し、関東大震災が発生するや、東京にて、罹災者救済やセルツメント事業に尽力しました。とりわけ協同組合運動には力を入れ、コープこうべなどの市民生協や戦前の学生消費組合の設立等を指導しました。また戦後は日本生協連の創立（初代会長）やキリスト教の伝道を行い、世界連邦運動を提唱。これらの諸活動を継続する間に宗教、哲学、経済、社会、文明批評、随筆、小説等賀川全集24巻に亘る作品を発表。戦後、ノーベル平和賞、ノーベル文学賞の候補にも推薦された記録が残っています。

鳴門市賀川豊彦記念館

1888(明治21)年賀川純一の子として神戸で誕生。父純一は徳島県における自由民権運動創始者の1人で、徳島県政府の長官を務め、神戸で海運業を営んだ。豊彦は4歳で両親を失い、明治26年父の本家である現鳴門市大麻町東馬詰の賀川家に引き取られた。徳島中学時代、キリスト教社会主義者の著書を耽読し、非暴力・反戦・平和主義の思想を抱く。教宣教師のローガン、マヤス両師の影響で、徳中4年時に洗礼を受けるなどこの地での体験は彼の人生に大きな影響をあたえた。鳴門市賀川豊彦記念館は、賀川豊彦鳴門記念館設立を目指す会・賀川豊彦鳴門記念館建設実行委員会の活動により、3千人近くの方々の寄付で徳島県鳴門市大麻町に2002年春に完成し、鳴門市へ寄贈された。

鳴門市ドイツ館

鳴門市大麻町（当時の板野郡板東町）には、大正6年～大正9年のおよそ3年間、第一次世界大戦時に日本軍の捕虜となったドイツ兵を収容した「板東俘虜収容所」が存在し管理スタッフがドイツ兵の人権を尊重し、自主的な生活を認めていました。ドイツ兵たちは様々な活動に取り組み、音楽活動においては、ベートーヴェンの「交響曲第九番」を、アジアで初めてコンサートとして全楽章演奏しました。鳴門市ドイツ館は、ドイツ兵たちが板東でどのような生活を送っていたのか、地域の住民とどのように関わり合ったのか、なぜドイツ館が創設されたのかなどを、具体的に知ることができます。中でも、第九初演のエピソードが映像とロボットで語られる「第九シアター」は見所です。また、この史実を踏まえ映画「バルトの楽園」が製作されました。

藍住町立「藍の館」

吉野川が運ぶ肥沃な土は藍作の繁栄を支え、江戸時代から明治にかけては「藍」と言えば阿波と言われるほどになりました。ピーク時には、約2300軒もの藍師が徳島で活躍していたそうです。大藍商であった旧奥村家屋敷の13棟の建物が昭和62年に藍住町に寄附され、併せて13万点におよぶ奥村家文書も町所有となったのを機に、旧屋敷内に展示1号館を新設し平成元年8月1日に開館しました。旧屋敷・奥村家文書・藍関係民俗資料(国指定)の恒久的保存。藍の専門博物館として藍の生活文化の創造と藍の情報センターとしての役割を担っています。藍染体験でオリジナル作品をつくります。